

# RV110WのSSIDセキュリティ設定

## 目的

セキュリティモードは、ワイヤレスネットワークを保護します。異なるサービスセットID(SSID)は、異なるセキュリティモードを持つことができます。SSIDは、ネットワークに対して異なる機能を実行できます。したがって、SSIDには異なるセキュリティ対策が必要になる場合があります。この記事では、RV110WでSSIDのセキュリティ設定を行う方法について説明します。

## 該当するデバイス

- RV110W

## 手順

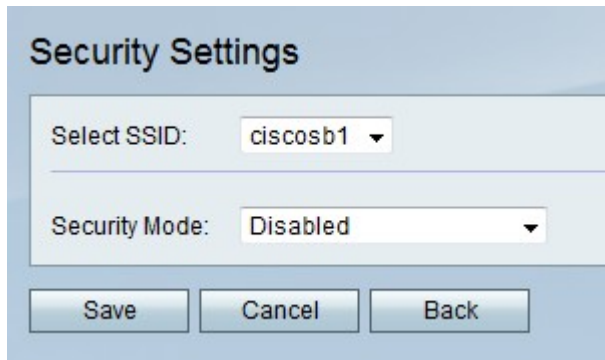
ステップ1: Web構成ユーティリティを使用して、[Wireless] > [Basic Settings]を選択します。

<input type="checkbox"/>	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isolation with SSID	WMM	WPS Hardware Button
<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ciscosb1	<input checked="" type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	On
<input type="checkbox"/>	OFF	ciscosb2	<input type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Off
<input type="checkbox"/>	OFF	ciscosb3	<input type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Off
<input type="checkbox"/>	OFF	ciscosb4	<input type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Off

<input type="checkbox"/>	Enable SSID	SSID Name	SSID Broadcast	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isolation with SSID	WMM	WPS Hardware Button
<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ciscosb1	<input checked="" type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Off
<input type="checkbox"/>	OFF	ciscosb2	<input type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Off
<input type="checkbox"/>	OFF	ciscosb3	<input type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Off
<input type="checkbox"/>	OFF	ciscosb4	<input type="checkbox"/>	Disabled	Disabled	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Off

ステップ2: ワイヤレステーブルで、セキュリティ設定を編集するSSIDのチェックボックスをオンにします。

ステップ3: [Edit Security Mode]をクリックします。[セキュリティの設定]ページが開きます。



Security Settings

Select SSID: ciscosb1

Security Mode: Disabled

Save Cancel Back

ステップ4:[Select SSID]ドロップダウンメニューから、セキュリティ設定を編集するSSIDを選択します。

## セキュリティモードの無効化

この手順では、SSIDを使用するためにセキュリティ情報を必要としないSSIDのセキュリティモードを無効にする方法を示します。

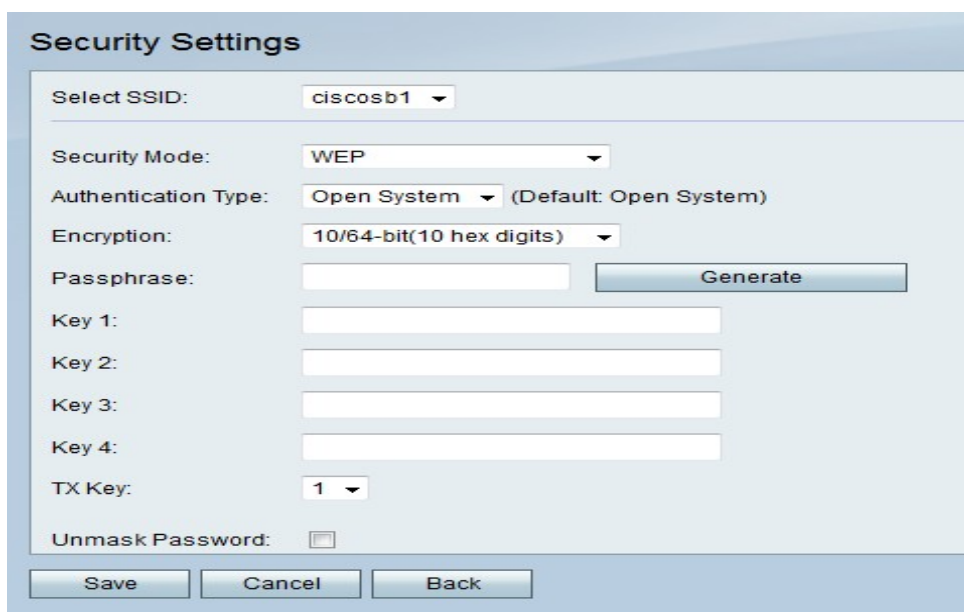
ステップ1:[Security Mode]ドロップダウンメニューから、[Disabled]を選択します。

ステップ2：変更を保存するには[保存]を、変更を破棄する場合は[キャンセル]を、前のページに戻る場合は[戻る]をクリックします。

## WEPセキュリティモード

この手順では、Wired Equivalent Privacy(WEP)をSSIDのセキュリティモードとして設定する方法を示します。WEPは最もセキュアなセキュリティモードではありませんが、一部のネットワークデバイスがWPAをサポートしていない場合は、これが唯一のオプションになる可能性があります。

ステップ1:[Security Mode]ドロップダウンメニューから、[WEP]を選択します。



Security Settings

Select SSID: ciscosb1

Security Mode: WEP

Authentication Type: Open System (Default: Open System)

Encryption: 10/64-bit(10 hex digits)

Passphrase:

Key 1:

Key 2:

Key 3:

Key 4:

TX Key: 1

Unmask Password:

Save Cancel Back

ステップ2:[Authentication Type]ドロップダウンメニューから、オプションを選択します。

- [Open System]：このオプションは、共有キー認証よりも直接的でセキュアです。
- [共有キー(Shared Key)]：このオプションは、オープンシステムよりもセキュアではありません。

ん。

ステップ3:[Encryption]ドロップダウンメニューから、40ビットキーを使用する10/64-bit(10 hex digits)または104ビットキーを使用する26/128-bit(26 hex digits)を選択します。

ステップ4:[Passphrase]フィールドに、少なくとも8文字の文字と数字を含むパスワードを入力します。

ステップ5:[Generate] をクリックして[Key]フィールドに4つのWEPキーを作成するか、[Key]フィールドにWEPキーを手動で入力します。

ステップ6:[TX Key]ドロップダウンメニューから、共有キーとして使用するWEPキーの[Key]フィールド番号を選択します。

ステップ7：パスワードの文字を表示する場合は、[Unmask Password]チェックボックスをオンにします。

ステップ8：変更を保存するには[保存]を、変更を破棄する場合は[キャンセル]を、前のページに戻る場合は[戻る]をクリックします。

## WPA – パーソナル、WPA2 – パーソナル、およびWPA2 – パーソナル混合セキュリティモード

Wi-Fi Protected Access(WPA)は、WEPよりも強力なセキュリティモードです。WPA-Personalでは、暗号化にTemporal Key Integrity Protocol(TKIP)またはAdvanced Encryption Standard(AES)を使用できます。WPA2-Personalは、暗号化にAESのみを使用し、認証に事前共有キー(PSK)のみを使用します。WPA2-Personal Mixedは、WPAクライアントとWPA2クライアントの両方をサポートでき、AESとPSKを使用します。この手順では、SSIDのセキュリティモードとしてWPA-Personal、WPA2-Personal、またはWPA2-Personal Mixedを設定する方法を示します。

ステップ1:[Security Mode]ドロップダウンメニューから、オプションを選択します。

- WPA-Personal：このオプションはAESとTKIPをサポートします。
- WPA2-Personal：このオプションはAESとPSKをサポートします。
- [WPA2-Personal Mixed]：このオプションは、WPAクライアントとWPA2クライアントの両方をサポートします。

ステップ2:[WPA-Personal]を選択する場合は、[Encryption]ドロップダウンメニューから暗号化の種類を選択します。

- TKIP/AES : このオプションは、AESをサポートしていない古いデバイスと互換性があります。
- [AES] : このオプションは、TKIP/AESよりも安全です。

ステップ3:[Security Key (セキュリティキー)]フィールドに、ネットワークへのアクセスを制限する文字と数字のフレーズを入力します。

ステップ4 : パスワードの文字を表示する場合は、[Unmask Password]チェックボックスをオンにします。

ステップ5:[Key Renewal (キーの更新)]フィールドに、ネットワークがキーを更新する間隔(秒)を入力します。

ステップ6 : 変更を保存するには[保存]を、変更を破棄する場合は[キャンセル]を、前のページに戻る場合は[戻る]をクリックします。

## WPA-Enterprise、WPA2-Enterprise、およびWPA2-Enterprise混合セキュリティモード

エンタープライズセキュリティモードでは、Remote Authentication Dial In User Service(RADIUS)サーバ認証が使用されます。RADIUSは別のサーバを使用するネットワークプロトコルであり、ネットワークとの間のトラフィックはRADIUSサーバを通過する必要があります。この手順では、WPA-Enterprise、WPA2-Enterprise、またはWPA2-Enterprise MixedをSSIDのセキュリティモードとして設定する方法を示します。

ステップ1:[Security Mode]ドロップダウンメニューから、オプションを選択します。

- WPA-Enterprise : このオプションでは、RADIUS、AES、およびTKIPを使用します。
- WPA2-Enterprise : このオプションでは、RADIUS、AES、およびPSKを使用します。
- [WPA2-Enterprise Mixed] : このオプションはRADIUSを使用し、WPAクライアントとWPA2クライアントの両方をサポートします。

Security Settings

Select SSID: ciscosb1

Security Mode: WPA-Enterprise

Encryption: TKIP/AES

RADIUS Server: 0 . 0 . 0 . 0 (Hint: 192.168.1.200)

RADIUS Port: 1812 (Range: 1 - 65535, Default: 1812)

Shared Key:

Key Renewal: 3600 Seconds (Range: 600 - 7200, Default: 3600)

Save Cancel Back

ステップ2:[WPA-Enterprise]を選択した場合は、[Encryption]ドロップダウンメニューから暗号化タイプを選択します。

- TKIP/AES : このオプションは、AESをサポートしていない古いデバイスと互換性があります。
- [AES] : このオプションは、TKIP/AESよりも安全です。

ステップ3:[RADIUS Server]フィールドに、RADIUSサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ4:[RADIUS Port]フィールドに、ネットワークがRADIUSサーバにアクセスするポート番号を入力します。

ステップ5:[Shared Key (共有キー)]フィールドに、ネットワークへのアクセスを制限する文字と数字のフレーズを入力します。

ステップ6:[Key Renewal (キーの更新)]フィールドに、ネットワークがキーを更新する頻度を秒単位で入力します。

ステップ7 : 変更を保存するには[保存]を、変更を破棄する場合は[キャンセル]を、前のページに戻る場合は[戻る]をクリックします。